

(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」)

令和元年度事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 水辺に遊ぶ会

1 事業実施の実績

① 自然に関する理解を深めるための啓発活動の推進

- ・ 今期は、一般を対象とした干潟観察会の開催ができなかった。春は悪天候、夏は暑さのため当初計画から外し、秋は多忙により事業実施に至らなかった。干潟観察会は、当会の中心的な行事であることから次期は必ず開催したいと考える。
- ・ 上記以外のベッコウトンボ、アカテガニ、山国川おサカナ、ズグロカモメと冬鳥などの観察会は例年通り開催した。山国川おサカナ観察会は増水のため期日をずらした影響から参加者が半減したものの、他の観察会は例年同様の参加を維持する事ができた。
- ・ 今期初の試みである、児童生徒を対象にした出張博物館「中津ひがた子どもアカデミア」は、大学や各種団体の協力の下成功裏に開催することができた。地域の環境学習だけでなく子どもの理科教育への関心を引き出すことを目的としたこの催しは、140 名を超える参加者と地域の人々の協力という財産を残した。来期も継続の予定である。
- ・ 今回で 3 回目となる「中津干潟アカデミア・研究発表会」は 200 名余りの参加があった。壇上で個々に発表する形式を変えて、大学、団体ごとにポスター発表形式を採用することで、これまで以上の賑わいを作ることができた。高校生による発表もあり、徐々に若い年齢層を取り込みたい。参加者の満足度の高い研究発表会となった。
- ・ 上記の研究発表会にあわせて JEAN 小島あずさ氏による 20 周年記念講演を行った。近年高い注目を浴びるようになった海ごみの最新状況についての解説が聴衆に分かりやすいと好評であった。講演に合わせて海ごみ調査のワークショップ、座談会なども同時に行った。
- ・ 例年テレビ・ラジオ・新聞などへの取材協力を行っているが、今期も主なもので 8 回 (NHK、OAB、OBS、大分合同新聞等) 程の取材を受け、広報につながる成果を残した。

② 調査研究活動

- ・ 前期に続き、中津市より干潟及び野依新池の調査委託があった。干潟の調査では、アライグマ定点撮影調査を継続し、初確認することができた。海苔漁場の塩分濃度調査も行い、一定の条件下では 1 週間程度の期間にわたって濃度が半分近くに落ちたままになる事実を記録できた。両調査とも今後も継続し、対策につなげたい。
- ・ カブトガニ関連の調査は、例年同様に産卵、幼生の個体数、混獲された成体などにつ

いて調べた。調査では、大きな変化は認められなかった。

- ・ シギ・チドリの調査は、大阪南港ウェットランドグループをはじめ、協力者のおかげで、相対的にも中津干潟の重要性がますます高まってきたことが示された。
- ・ 前期に続いて、日本文理大学と干潟学習が児童の情操に与える効果について共同研究を行った。一定程度の効果については分かったが、今後さらにデータの収集を重ね科学的な根拠を固めていきたい。
- ・ 野依新池の調査では、トンボ類を中心に植物、水生生物などの詳しい調査と過去のデータを利用した解析を行い、環境の劣化を科学的に示した。前期末頃に野依新池に接する迫池堤体で行われた大規模伐採の影響による生態系の大きな変化も記録、報告した。報告書では、これらの結果をもとに至急保全作業を行うべきであると提言した。

③ 海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する啓発活動

- ・ 海岸清掃、松林景観再生活動ともに今年度も多くの参加を得て実施できたが、3月の三百間ビーチクリーンは、新型コロナウイルスの影響により中止した。
- ・ 前期は、毎年清掃と松林に取り組んでいる県立工科短大に加え、小楠小学校、東中津中学校が参加してくれたが、今期は、小楠小学校はビーチクリーンの参加となり、中学校の参加は無かった。

④ ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動

- ・ 海苔の不漁等により3年連続で海苔漉き体験が実施できなかった。参加者に高評価な行事であることから、次年度は原藻の確保の時期などを工夫して実施したい。
- ・ 前期に続きアカニシを使った染物のワークショップを開始したが、指導できるスタッフが不足したこと、アカニシが含有する染料不足などによりうまくいかなかった。参加者には後日無料で同様のワークショップへの参加を補償したが期中に実現できなかった。

⑤ 自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信

- ・ 今期は、編集を担当していた理事長の緊急入院などによりガタガタ通信が年1回の発行しかできなかった。会員への説明責任が果たせない状況にあり、対策が急務である。
- ・ HPのリニューアルの効果が徐々に出ている。アクセス数は年21,900件を越えた。マスコミからの問い合わせもHPからという事例も出てきた。今後も地道に情報提供を行うと同時に、内容の再検討も行いながらステップアップを図りたい。

⑥ 民間および公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など

- ・ 舞手川河口で実施している養浜の試みが5年になるがカブトガニの産卵場所の確保と海岸の保全、河口閉塞の防止という面で効果を上げている。今期は日大教員、学生が調査に訪れた。今後も県土木や研究者とともに、より良い海岸づくりを実施したい。

- ・ 前年度末にベッコウトンボの生息池周辺で大きな環境改変が行われた。これに関して関係行政や地域住民との合意形成が必要になると思われ、中津市への働きかけを行った。役所内部の連絡体制はできたが、依然地域の理解が得られたとは言いがたい状況にある。今後も地域と密接な関係を持ちながら保全への働きかけを行っていきたいと考える。

⑦ 持続可能な社会を追究するためのその他の活動

- ・ ここ数年組織基盤強化及び持続的な経営の確立が急務であるとしていたが、管理業務及び事業実施業務の分散化、組織の高齢化、関係者のスキル不足、若手の担い手不足など課題がはっきりと見えた1年であった。
- ・ 上記の問題に対応して、期末までに事業マニュアルの作成に着手したが、一部のみ完成したものの不完全な状態にある。全事業及び管理業務のマニュアル化を急ぎ、誰もが各業務について、いつでも読んで学べる環境を創造したい。
- ・ 収益事業により何とか従業員の雇用を確保するだけの収入を得ることができた。ただ、年度末に発生した新型コロナウイルスの影響により、事業のほとんどが実施できなくなった場合、固定費が膨らみ健全な経営を維持することが難しくなる。助成金や補助金も返還せざるを得なくなる可能性も高い。状況に応じて従業員の一時帰休等を検討課題とせざるを得ない。そうなった時の対応も準備しておく必要がある。
- ・ 過去5年にわたり、基盤強化、自己資金の確保をテーマに活動を行ってきたが、理事長へ依存偏重状態は依然解消できていない。理事他事務局スタッフ一同でもう一度真剣に考え、自覚を持って運営に関わる必要がある。次年度への課題として皆の自覚を促したい。
- ・ 台湾の環境省にあたる行政院環境保護署の視察団が「ひがたらぼ」を訪問した。福岡県、北九州市と当会を視察した。この他にも、各種多数の団体からヒアリングや視察を受けている。このように専門性の高い組織・団体に対しては高い知名度があることが再確認できた。だが一般への周知率を上げられなければミッション達成は遠いことも理解しておく必要がある。

⑧ その他

- ・ 総じて事業活動については、ギリギリ合格点では無いと思われる。ただ、干潟や水辺環境の保全、動植物の保護という意味ではほとんど進展が見られないという現実は変わらない。ベッコウトンボの池周辺では環境改変が続き、これに対する積極的な措置が行われていない。行政への積極的な働きかけや市民全体の意識の醸成、情報の発信など、本来の目的である「環境保全」についても今後どのような展開を行うか検討する必要がある。

(法第28条第1項関係「前事業年度の事業報告書」)

令和元年度事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 水辺に遊ぶ会

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係わる事業

定款の事業名						
事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	受益対象者の人数	支出額(円)
① 自然に関する理解を深めるための啓発活動の推進						
自然観察会	ベッコウトンボ観察会	5/3	野依地区	7名	市民他	54名
	春の干潟観察会	中止	大新田		市民他	
	アカテガニ観察会	7/30	山国川	10名	市民他	39名
	山国川おサカナ観察会	8/3	大新田	11名	市民他	18名
	スグロモトと冬鳥観察会	12/2	東浜	11名	市民他	24名
その他行事	海の絵コンテスト	夏休み	中津市内	4名	児童	874名
	夏休みワークショップ	夏休み	ひがたらぼ	2名	市民他	46名
	JEAN海ごみ座談会	12/21	小楠コミュニティ	9名	市民他	17名
	海ごみ調査ワークショップ	12/21	ひがたらぼ	8名	市民他	18名
	ひがたかふえ	5・7・9・11・1月	ひがたらぼ	3名	市民他	18名
						2,423,710
小学校での環境学習指導		28回	中津市・外	76名	児童	1,863名
中学校での環境学習指導		1回	中津市外	1名	学生	200名
短大・大学の環境学習講師		2回	中津市・外	2名	学生	200名
社会教育の場などでの講師		2回	中津市・外	2名	児童・市民他	32名
企業・その他団体他での講師		6回	中津市・外	18名	児童・市民他	166名
中津ひがた子どもアカデミア		8/17	今津コミュニティ	12名	児童・市民他	144名
中津干潟アカデミア		12/23	小楠コミュニティ	14名	児童・市民他	約200名
マスコミ対応(主なもの)		8回	中津市	10名	市民他	不特定
② 調査研究活動						
生物調査(カブトガニ)		18回	中津干潟	40名	学生・市民他	5名
生物調査(シギチドリ類他)		14回	中津干潟	54名	学生・市民他	84名
生物調査(ベッコウトンボ・生息地)		37回	野依地区他	39名	学生・市民他	3名
その他(アライグマ・漁場塩分)		17回	中津干潟	17名		
他機関との協働(水産大・文理大・群馬大・日大長崎大・トンボ学会・応用生態技術研究所)		17回	中津干潟他	19名	不特定	55名
						1,949,873

③ 海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する啓発活動							
ビーチクリーン (漂着物調査)	大新田海岸	5/12・9/8・12/1	大新田	27名	市民他	585名	534,473
	三百間海岸	中止	三百間		市民他		
	漂着物調査	1回	大新田	2名			
	学生への指導	2回	大新田	5名	学生	192名	
児童向海ごみ学習用冊子増刷		6月	大分県内	2名	児童・県民他	2000冊	
松林景観再生	一般参加作業	5/12・9/8・12/1	大新田	3名	市民他	134名	
	専門作業	19回	大新田	12名	学生・市民他	4名	
	学生への指導	1回	大新田	1名	児童・学生他	60名	
④ ブルートゥーリズムなどの地域振興を推進する活動							
魚食推進	帝王紫ワークショップ	7/25	ひだまり	6名	児童・市民他	11名	184,931
⑤ 自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信							
会報誌発行		1回	国内	1名	国内	500名	16,432
ホームページ維持管理		通年	国内	2名	不特定	21,900アクセス	
生物データベース管理		通年	国内	3名	不特定		
環境イベント出展		1回	今津	3名	不特定		
⑥ 民間および公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など							
野依新池ベッコウトンボ保全提言		4/8	市役所	1名	団体	1名	
環境省瀬戸内小委員会		10/8	東京	1名	行政・市民	約60名	
台湾行政院環境保護署視察受入		11/22	ひがたらぼ	2名	行政・市民	19名	
野依新池ベッコウトンボ保全作業		11/30	野依地区	9名	市民他	25名	132,681
団体ヒアリング受入		4回	ひがたらぼ	8名	団体	4名	
五十石川連携ほか		通年	中津市内	2名	市民他		
海岸事業に関する検討		通年	中津市内	4名	行政・市民		
ベッコウトンボ保全に関する検討		通年	中津市内	2名	行政・市民		
⑦ 持続可能な社会を追究するためのその他の活動							
NPO経営ヒアリング		1/11	ひがたらぼ	4名	個人	1名	518,754
「ひがたらぼ」運営		通年	ひがたらぼ	5名	不特定		
NPO基盤整備		通年	ひがたらぼ	5名	不特定		
商品(カブトガニサブレ・海苔他)販売		通年	中津市・外	3名	不特定		

活動計算書

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

特定非営利活動法人水辺に遊ぶ会
(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	24,000	
賛助会員受取会費	137,000	
特別会費	260,000	421,000 /
2. 受取寄附金		
受取寄附金	758,953	758,953
3. 受取助成金等		
受取補助金・助成金	2,421,223	2,421,223
4. 事業収益		
①自然に関する理解を深めるための啓発活動	997,276	
②調査研究活動	1,542,000	
③海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する活動	300,000	
④ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動	36,000	
⑤自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信	0	
⑥民間及び公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など	10,000	
⑦持続可能な社会を追究するためのその他の事業	358,731	3,244,007 /
5. その他収益		
受取利息	21	
雑収入	98,990	99,011
経常収益計		6,944,194 ✓
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
給料手当	1,932,461	
事務局経費	131,000	
雑給	130,000	
法定福利費	317,043	
福利厚生費	104,221	
人件費計		2,614,725 /
(2)その他経費		
業務委託費	961,925	
諸謝金	55,000	
印刷製本費	358,724	
旅費交通費	446,814	
通信運搬費	159,339	
消耗品費	809,536	
修繕費	1,401	
諸会費	0	
会議費	0	
水道光熱費	200	
減価償却費	0	
車両費	14,141	
賃借料	14,040	
保険料	43,920	

交際費	6,000		
図書費	0		
支払手数料	4,163		
雑費	33,618		
渉外費	0		
広告宣伝費	0		
売上原価	237,308		
租税公課	0		
その他経費計		3,146,129	/
事業費計		5,760,854	/
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	357,539		
事務局経費	0		
雑給	0		
法定福利費	58,658		
福利厚生費	0		
人件費計		416,197	/
(2) その他費用			
業務委託費	0		
印刷製本費	12,520		
旅費交通費	0		
通信運搬費	110,224		
消耗品費	8,903		
修繕費	0		
諸会費	23,100		
会議費	0		
水道光熱費	135,468		
車両費	0		
賃借料	271,400		
保険料	22,770		
図書費	0		
支払手数料	330		
雑費	21,412		
渉外費	50,600		
租税公課	2,600		
その他経費計		659,327	/
管理費計		1,075,524	/
経常費用計			6,836,378 /
当期経常増減額			107,816 /
Ⅲ 経常外収益			
過年度損益修正益	9,620		
経常外収益計		9,620	
Ⅳ 経常外費用			
過年度損益修正損	5,726		
経常外費用計		5,726	
税引き前当期正味財産増減額			111,710
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			40,710
前期繰越正味財産額			2,800,521 /
次期繰越正味財産額			2,841,231 /

(法第28条第1項関係様式)

令和元年度「特定非営利活動に係る事業」会計貸借対照表

(報告式)

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人水辺に遊ぶ会

科 目 ・ 摘 要	金 額 (単位:円)		
(貸金収支の部)			
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,094,261		
未収金	796,094		
前払金	254,770		
棚卸資産	77,292		
その他			
(流動資産合計)		3,222,417	
2 固定資産			
土地	0		
建物	0		
車両	0		
備品	0		
その他	0		
(固定資産合計)		0	
(資産合計)			3,222,417
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
未払金	76,395		
前受金	199,500		
預り金	34,291		
法人税等未払金	71,000		
(流動負債合計)		381,186	
2 固定負債			
長期借入金			
(固定負債合計)		0	
(負債合計)			381,186
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,800,521	
当期正味財産増加額(減少額)		40,710	
(正味財産合計)			2,841,231
(負債及び正味財産合計)			3,222,417

財務諸表の注記

特定非営利活動法人水辺に遊ぶ会

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 NPO法人会計基準協議会)によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 固定資産の減価償却の方法
該当なし

(2) 引当金の計上基準
該当なし

(3) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
該当なし

(4) ボランティアによる役務の提供
ボランティアによる役務の提供は、4. のとおりですが活動計算書には計上しませんでした。

(5) 消費税等の会計処理
該当なし

2. 事業費の内訳

事業費の内訳は別表のとおりです

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

特に該当なし

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

(単位:円)

内 容	金 額	算定方法
環境活動作業 1,450名、平均3時間、計5,400時間	3,436,500円	単価は大分県の最低賃金によって算定 (@790円)

5. 使途等が制約された寄附等の内訳

(単位:円)

内 容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備 考
TOTO水環境基金	0	950,000	950,000	0	啓発・教育
SAVE JAPAN PROJECT	0	715,000	715,000	0	海岸清掃
中津市中津干潟環境調査	0	737,000	737,000	0	中津干潟保全調査
中津市野依新池生物調査	0	715,000	715,000	0	野依新池保全調査
大分県森と海をつなぐ環境保全推進事業	0	300,000	300,000	0	海岸清掃
大分県希少野生動植物保全事業	0	496,000	496,000	0	野依新池の保全活動
国土交通省河川協力団体	0	814,376	814,376	0	山国川環境学習・生物調査
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	0	300,000	300,000	0	中津干潟保全活動

6. 固定資産の増減内訳

7. 借入金の増減内訳

特に該当なし

8. 役員及びその近親者との取引の内容

特に該当なし

9. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・現物寄附の評価方法
特に該当なし

・事業費と管理費の按分方法
従業員給料手当は事業毎の総支出額比(従業員人件費を除く)によって按分した。事務局経費は事業毎に按分した。

・重要な後発事象
特に該当なし

(別表) 事業別損益の内訳
事業費損益の内訳は以下のとおりです

科 目	特定非営利活動に係る事業						事業部門 計	管理部門	合計
	自然に関する理 解活動のため の啓発活動	調査研究活動	海外啓発活動 （海外に滞在する 期間に限定する）	ブルース・ジャ ムなどの地域振 興活動（海外に 滞在する期間に 限定する）	自給自足活動に 関する啓蒙・交 渉・関係・発展 活動	民衆及び公衆 の福祉に寄与 する事業に 関する啓蒙・交 渉・関係・発展 活動	特定非営利活動 のその他の事業		
I 経常収益									
1. 受取会費							0	421,000	421,000
2. 受取寄付金							0	758,953	758,953
3. 受取助成金等	1,825,223	496,000	300,000				2,421,223		2,421,223
4. 事業収益	997,276	1,542,000	300,000	36,000		10,000	3,244,007		3,244,007
5. その他収益							0	99,011	99,011
経常収益計	2,622,499	2,038,000	600,000	36,000	0	10,000	5,665,230	1,278,964	6,944,194
II 経常費用									
(1) 人件費									
給料手当	814,989	655,658	179,720	62,184	5,525	44,615	1,932,461	357,539	2,290,000
事務局経費	40,000	10,000	13,000	10,000	10,000	0	131,000	0	131,000
雑給	87,000	8,000	35,000				130,000	0	130,000
法定福利費	133,708	107,568	29,485	10,502	907	7,320	317,043	58,659	375,701
福利厚生費	43,390	35,310	22,131		3,390		104,221	0	104,221
ボランティヤ評価費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	1,119,087	816,536	279,336	82,386	16,432	55,325	2,614,725	416,198	3,030,922
(2) その他経費									
業務委託費	180,000	698,100		73,100			961,925		961,925
諸謝金	55,000						55,000		55,000
印刷製本費	235,930	1,724	116,380				358,724	13,520	371,244
旅費交通費	300,996	118,890	7,630			19,298	446,814		446,814
通信運搬費	79,742	9,710	65,148				159,339	110,224	269,563
消耗品費	390,335	306,833	18,699	29,445		58,058	809,536	8,903	818,439
修繕費			1,401				1,401		1,401
諸会費							0	23,100	23,100
会議費							0		0
水道光熱費	200						200	135,468	135,668
減価償却費							0		0
車両費	2,000	2,000	10,141				14,141	0	14,141
貸借料	14,040						14,040	271,400	285,440
保険料	20,800		23,120				43,920	22,770	66,690
交際費	6,000						6,000		6,000
図書費							0		0
支払手数料	880	3,080					4,168	330	4,493
雑費	18,700		12,718				31,418	21,412	55,030
広告宣伝費							0	50,600	50,600
売上原価									
租税公課							237,308		237,308
その他経費計	1,304,823	1,133,337	255,137	102,515	0	77,356	3,146,129	659,327	3,805,456
経常費用計	2,423,710	1,949,873	534,473	184,931	16,432	132,681	5,760,854	1,075,525	6,836,378
III 経常外収益									
過年度損益修正益							0	9,620	9,620
経常外収益計							0	9,620	9,620
IV 経常外費用									
過年度損益修正損							0	5,726	5,726
経常外費用計							0	5,726	5,726
法人税、住民税等							0	71,000	71,000
損益計算	198,789	88,127	65,527	-148,931	-16,432	-122,681	-95,624	203,440	107,816
経常外収支	198,789	88,127	65,527	-148,931	-16,432	-122,681	-95,624	203,440	111,710
税引き後 差額	198,789	88,127	65,527	-148,931	-16,432	-122,681	-95,624	132,440	40,710

(法第28条第1項関係様式)

令和元年度財産目録
(法人一括)
令和2年3月31日現在

科 目 ・ 摘 要		特定非営利活動法人水辺に遊ぶ会 金 額 (単位:円)		
(貸金収支の部)				
I 資産の部				
1 流動資産				
現金	現金手許有高	138,436		
普通預金	大分銀行1	374,420		
	大分銀行2	985		
	ろうきん	943,889		
郵便貯金		247,900		
郵便振替		388,360		
漁業協同組合		271		
未収金		796,094		
前払金		254,770		
棚卸資産		77,292		
その他		0		
(流動資産合計)			3,222,417	
2 固定資産				
土地		0		
建物		0		
車両		0		
備品		0		
その他		0		
(固定資産合計)			0	
(資産合計)				3,222,417
II 負債の部				
1 流動負債				
短期借入金		0		
未払金		76,395		
前受金		199,500		
預り金		34,291		
法人税等未払金		71,000		
未払消費税		0		
(流動負債合計)			381,186	
2 固定負債				
長期借入金		0		
(固定負債合計)			0	
(負債合計)				381,186
正味財産				2,841,231